

館名	神石協働センター 生涯学習事業部(旧神石公民館)
事業名	郷土料理本「残しておきたいおふくろの味」続編作りをめざして！！ ～いきいきふれあい教室の活動～
趣旨	<p>○平成 18 年に結成された「いきいきふれあい教室」は、少子高齢化により伝統的生活様式の継承が難しい中で、もっとも身近で大切な「食文化」に着目、伝統食・行事食等の郷土料理の継承を目的に、その掘り起しとレシピ化を会員の総意で行い、6年間の集大成として平成 24 年 3 月「残しておきたいおふくろの味」誌を発刊した。このレシピ集は発刊以来、全国的に好評を博し現在も販売している。</p> <p>○町内では、小学校の総合学習、学校給食、JA 女性部、町の食育推進事業等に活用され、また、農文協が発刊する「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」の取材、市町の視察も受けた。</p> <p>○引き続き、このレシピ集に載せ切れなかった郷土料理等の掘り起し、当時の古い食器類の発掘、レシピ化を平成 26 年度から毎月定期的に行い、続編を平成 29 年度中に発刊の運びとなった。</p>
特徴	<p>○「いきいきふれあい教室」会員の高齢化等により会員数が減少し少人数になったが、続編発刊という目標を平成 26 年度に設定し、活動を続けてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの自家製の旬の食材を活用した。 ・手づくり感を引き出し、田舎の味を大切にした。 ・地産地消に心がけ、地元産を使用した。
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(こんにゃくづくり)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(八十椀)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(漆塗重箱)</p> </div> </div>
活動実績	<p>年度当初に全員で打ち合わせ会議を持ち、年間の取組む料理名を網羅、月毎に(開催日・食材・担当者等)を決め、会費を集金して開催した。料理別に担当者を決め、手順どおりに料理、それを撮影し、終了後料理ごとにレシピ化を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度(14 回, 延べ 119 人, 約 50 品) ・平成 27 年度(18 回, 延べ 148 人, 約 60 品) ・平成 28 年度(21 回, 延べ 108 人, 約 30 品) <p>平成 28 年度後半は、資料の取りまとめや再調理等の手直しを中心にした。</p>
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の協力により、食生活に関係する古い食器類の掘り起しができた。 ○各地域の永年の暮らしは、身近な食材を利用して多種多様な料理が作られていて、驚きと同時にこれを継承していかなければいけないと再認識した。 ○当時の味覚と現在の味覚は異なっているので同じ料理でもその点に気を配った。 ○調理の不明な料理もあり、会員同士で試行錯誤しながらレシピを作成した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○料理の手順等で不明なところを地域住民に聞くことができないことがあった。 ○高齢化により会員数が減少し継続が大変である。 ○後継者の養成が難しく思案している。

連絡先

神石協働支援センター 生涯学習事業部(旧神石公民館)
〒729-3511 広島県神石郡神石高原町高光 2117-10
電話 0847-87-0181 ファクシミリ 0847-87-0331
電子メール